物性研に着任して

量子物質グループ　　酒井 明人

2017 年 5 月 1 日付けで量子物質グループの中辻研究室に助教として着任いたしました酒井明人と申します。今回助教として採用いただき大変嬉しく思います。

実は 2016 年 4 月から約 1 年間特任助教として中辻研究室で既に勤務させていただいておりました。特任助教としての最初の大きな仕事は実験室の引っ越しでした。特にシールドルーム内の希釈冷凍機は低ノイズで精密な測定ができるように最適化されていたので、移動後も同様に良い測定ができるように細かい所まで気を配って新しい実験室に再立ち上げしました。幸い当時博士 3 年の辻本さんや助教の松本さんなど多くの方々の協力もあり、移動前と変わらず高精度な測定ができるようになりました。

さて、助教着任後既に半年以上経過しましたが、仕事の幅広さと責任の重さを日々感じております。中辻先生は特に国内外への出張で不在なことが多く、それでいて外国人研究者も一際多い研究室であるため、問題が起きないように気を配ることが一層必要とされます。問題を未然に防ぐため、実験室の見回りやメンバーとのコミュニケーションを積極的に行っていく次第であります。J-Physics のトピカルミーティングも物性研究所で本年度 2 度開催を行いました。これまでは会議に参加するだけの立場でしたが、プログラムの作成等裏方の仕事を始めて経験致しました。トピックが私自身大学院時代から研究を行っている馴染みのある系（軌道秩序と近藤効果を示す $PrTr_2Al_{20}$ (Tr = Ti, V)系）であったということもあり、会議の成功を祈って尽力いたしました。海外からの来客も多く、対応が求められることもあります。世界的に著名な研究者と直接会話をできるのは大変有意義な経験になりました。

研究のほうもトポロジカル磁性体から強相関 f 電子系、フラストレート磁性体など室温から極低温度まで幅広く行っております。物質合成と物性測定両方の知識と技術を活かして、測定結果から得られた知見を合成にすぐにフィードバックして研究を進めていきたいと思っています。居室は A461 におります。物性研内外の様々な方々と共同研究ができればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。